

FAX COVER LETTER



〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林26

財団法人日本モンキーセンター
附属世界サル類動物園

加藤 章

☎ 0568-61-2327

FAX 0568-62-6823

送信先 報道各位

送信枚数 本紙を含めて 5枚

送信年月日 平成24年9月20日

<< お知らせ >>

世界最大の虫類が勢ぞろいします！

～世界最大のカブトムシ、最重量の昆虫、

最大のヤスデとゴキブリそしてサソリが～

毎日暑い日が続きますが、朝夕はめっきり涼しくなり自然の大きさをつくづく感じる日々です。皆様にはますますご活躍のことと存じます。

さて、秋といえばカブトムシ！ ではありませんが日本モンキーセンターでは外国産カブトムシなどを研究されている方から貴重なヘラクレスオオカブトムシのサナギのご提供を戴きました。

卵から 2 年の歳月を経て巨大なサナギに変体しました。これからさらに半年かけて成虫へと熟成、羽化後も 3~6 ヶ月かけて体を硬化させ、世界最大のヘラクレスオオカブトムシがデビューします。成虫を見かけることはありますが、100g を越す巨大なサナギを眼にすることはめったにありません。

今回、タブーとされている最もデリケートなサナギの姿を皆様に間近に見ていただくこととしました。もちろん成虫もご覧いただけます。

■ヘラクレスオオカブトムシ (学名 *Dynastes hercules*)

コウチュウ目 (鞘翅目)・コガネムシ科・カブトムシ亜科・真性カブトムシ族の昆虫で中、南米の標高 1000~2000 m の雲霧林に生息します。朝夕の霧が発生するひんやりした時間に活動し、気温が上がり始めると地下にもぐり暑さをしのぐようです。大きさは最大で 160 mm に達します。強力な角は他のカブトムシの体を押しつぶし、胴 (胸) と前翅間

の関節はニッパーのように相手の足を切断します。成虫の寿命は1.5年～2年。

■あわせて世界最重量の昆虫、ゾウカブトムシのサナギも展示します。北米南部から中米、南米に生息し、重量は200gに達します。ヘラクレスオオカブトムシ同様、サナギの時期は成虫よりさらに体が大きく重く、エイリアンを思わせる姿は圧巻です。しかし、サナギの時期は体が簡単に折れ体液が流れ出て死んでしまうため、普通はあまり人前に出ることはありません。

今回は大変安定した個体で、繭室ですくすく成長するサナギを選び、ご覧いただける運びとなりました。

■サナギを手にとってご覧いただくことはできませんが、間近に見るサナギは圧巻です。もちろん140mmを超える成虫は止まり木ごと手にとってご覧いただけます。

※直接手で触れると強力な足や角で怪我をする可能性があるため止まり木ごとお持ちいただきます。

記念撮影はもちろん、スタッフにお申し付けいただければお客様のお持ちのカメラで撮影も致します。

記

○場所：K I D S Z O Oメインハウス内

※デリケートなサナギの健康維持に常時エアコンを要するため。

○料金：通常のK I D S Z O O入場料200円が必要です。

※入場者が小学生以下の場合、保護者5名様まで無料

○公開時間：開園より、閉園30分前まで

※他にモンキーセンター入園料金が必要です。

○公開期間：平成24年9月14日～11月末日

昆虫の健康状態により多少の前後があります。

■同時にK I D S Z O Oでは世界最大のマダガスカルオオゴキブリや最大のサソリ、ダイオウサソリも手に取ることができます。

また、ビジターセンター内で開催中の特別展「アフリカ」ではやはり世界最大のタンザニアオオヤスデ（およそ30cm）も触れることができます（入園料のみでご覧いただけます）。

■一施設でこれほど多種の巨大昆虫の生体が一堂にご覧になれ、触れ合える機会はめったにありません。昆虫好きの方はもちろん、苦手な方もこの機会に昆虫の見方を変えていただければと思いお知らせしました。



世界最大のカブトムシ
ヘラクレスオオカブトムシ(南米)

サナギ(左)
成虫(右)



最重量昆虫
ゾウカブトムシ



世界最大のヤスデ
タンザニアオオヤスデ

■お問い合わせは

登録博物館 財団法人日本モンキーセンター附属博物館世界サル類動物園

加藤・赤見 までお願いします。電話：0568-61-2327